

SecurityScorecard

セキュリティ・リスク・スコアリングシステム

自社と取引先の
セキュリティリスクを可視化し
対策状況を把握する

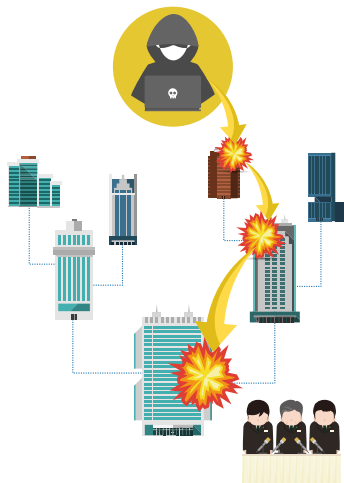
こんな事にお困りではないですか？

サプライチェーンリスク

に対して危機感を感じている。

自社だけでなく、グループ会社、海外法人、取引先のセキュリティ対策状況が把握できていない。

サプライチェーンリスク イメージ



業務委託先などの一連の商流において、セキュリティ対策が甘い組織が攻撃の足がかりとして狙われる

「SecurityScorecard」とは・・・

サイバー攻撃のサプライチェーンリスクを可視化する
「セキュリティ・リスク・スコアリングシステム」



自社のリスクを点数化し
セキュリティ対策状況が
瞬時にわかる

- ▶ 外部ハッカーからの視点で点数化し、どこに問題があるか視覚化



相手のリスクを点数化

- ▶ 相手に対して目標点を設定し、要件を明確化

SecurityScorecard 特徴

セキュリティリスクを全10項目・5段階で 点数化し、目標設定や対応策を明確化



A B C D F
A から F までの分かりやすい指標でスコア化

システムに負荷をかけずに 素早くスコア化

- ▶ インターネット上から収集される情報に基づき、ハッカー視点の詳細な分析結果を提供
- ▶ C&Cサーバー※への通信の疑いがある端末情報などを基にスコア化

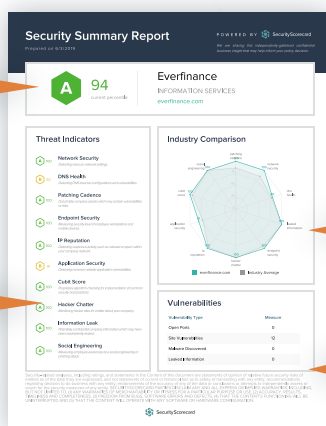
※コマンド&コントロールサーバーの略。マルウェアに感染した端末を制御したり、命令を出したりする役割を担うサーバーのこと。



レポートイメージ

全体のスコアを表示

全部で10つのカテゴリーで
それぞれのスコアを表示



サマリレポートの他に、詳細レポートなどの各種レポートを作成可能。目標の点数に到達させるために、解決すべき課題や脆弱性対処方法なども確認することが可能

※日本語でのレポート表示も可能です

調査対象の企業が所属する産業のなかの平均に対して、どのくらいの位置づけなのか視覚化

見つけた脆弱性の件数とカテゴリーを記載

SecurityScorecardは現在、全世界800社に採用されています

利用ケース①

ベンダーリスク マネジメント

取引先に要求するセキュリティ対策の指針として活用

利用ケース②

企業グループの セルフチェック

小規模拠点や海外拠点を含みグループ全体の状況把握に活用

利用ケース③

サイバー保険

保険料算出時の指針として活用

利用ケース④

買収企業調査

企業買収前のリスク評価に活用

